

全校児童が一丸となって
地球温暖化問題を考える



青森県青森市



青森市立堤小学校

堤小学校では、地球温暖化への アクションを軸として、全校が一丸となって 温暖化防止の活動に取り組んでいます

本校は青森市の中央部に位置し、近くには堤川が流れ、中央市民センターなどの文教施設も多く、閑静な住宅地が広がる地域です。

3年前から地域ESD活動推進拠点校に登録され、新学習指導要領を受け、全校で地球温暖化防止の活動に取り組んできました。各学年でESDカレンダーを作成し、総合的な学習のみならず、各教科との関連を図りながら、実践を行ってきました。ESD活動支援センターや地域人材との連携を図りながら、児童の問題意識に沿った活動を進めています。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について
上：留学生に話を聞く
下左：りんご農家に聞く
下中：全校への呼びかけ
下右：野菜の専門家に聞く

〒030-0813 青森県青森市松原2-4-4

電話 017-734-5579

FAX 017-734-5621

E-mail tsutsumisyo@aomoricity.ed.jp

URL <http://www.aomoricity.ed.jp/tsutsumisyo/>



活動紹介

地球温暖化ストップ プロジェクト



グリーンカーテン



地球温暖化ストッププロジェクト、結果発表

プロジェクト概要

本プロジェクトについて、昨年度の6年生の実践を紹介します。児童は、5年生の時から、地球温暖化を防ぐ活動に取り組んできました。6年生になり、地球温暖化の影響について、さらに知りたいと考え、りんご農家、ホタテ漁師、野菜の専門家、気象台の方にお話を聞きました。実際にりんごやホタテを育てている方のお話には説得力があり、地球温暖化は、本当に深刻な問題であることを、実感することができました。そして、自分たちが温暖化を食い止める行動を起こさなければならないという気持ちが強くなりました。自分たちでできることに取り組みたいと考えた児童は、全校のみんなに呼びかけて、節電、節水、ごみの減量に取り組んでもらいました。それが、放送での呼びかけ、ポスター作り、チャレンジカードの作成など、全校での取り組みにつながりました。

ESD実践のポイント

気候変動を自分事として捉えるために、留学生から直接、話を聞く機会も設けました。日本以外の国々では、どのような温暖化の影響があるのか、そして、どんな対策をとっているのか、留学生から直に話を聞きました。そのことにより、児童は温暖化が日本だけの問題ではなく、地球全体の問題なのだという、危機意識をもちました。また、地球温暖化を防ぐ取り組みとして、教室に「きゅうりのグリーンカーテン」を作りました。実際にやってみると、日差しを防ぐことができ、節電につながることを実感することができました。自分たちが実践していることを地域の方々にも広めようと考え、町会長さんや中学生にも自分たちの取り組みを発表しました。3月には卒業しても、この取り組みを続けたいという子どもたちの言葉に、成長を感じました。

担当者からのメッセージ

初年度から2年間取り組んだ学年の児童は、自分事として考え、どんどん探求的に取り組んでいくようになり、本気な姿に、大きな成長を感じました。調べるときの姿勢、まとめたことを伝える活動、学校全体や家族、地域への取り組みのアピールと実践など、教科書の学習では学ぶことができない、すばらしい学びができています。子どもたちが生き抜く未来を、自分たちで創っていく力が育つものと確信しています。



青森市立堤小学校 校長
山崎 斉さん